

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果概要 ～洞爺湖町の子どもの学力の向上を目指して～

洞爺湖町教育委員会管理課 ☎74-3009

昨年の4月17日（火）に実施されました全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われ、洞爺湖町においても、小学校3校（63名）、中学校2校（40名）の全5校が参加し、国語、算数・数学、三年毎に実施する理科の学力調査と生活・学習習慣に関する児童・生徒質問調査、学習指導に関する学校質問調査を行いました。

学力調査の結果（平均正答率）は下記の表のとおりですが、学力調査の結果や児童・生徒質問調査、学校質問調査の特徴的な内容、さらには本町の学力向上対策の概要についてもお伝えします。また、町のホームページでは、そのほかに児童・生徒質問調査、学校質問調査の全てを掲載します。

◆表の見方

- ※ A問題は、主として「知識」に関する問題で、身に付けなければ後の学習内容に影響を及ぼし、かつ実生活で不可欠な知識・技能を問うもの(国語A、算数A・数学A)
- ※ B問題は、主として「活用」に関する問題で、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力を問うもの(国語B、算数B・数学B)
- ※ 理科の問題は、A問題、B問題を一体的に出題
- ※ 数字は平均正答率で、平均正答率は各平均正答数を設問数で割った値の百分率です。なお、都道府県と市町村の平均正答率の%は、文科省方針で小数3位を四捨五入したものです。

【小学校】

(単位：%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
洞爺湖町	66	48	60	46	56
北海道（公立）	70	53	62	49	59
全 国（公立）	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

【中学校】

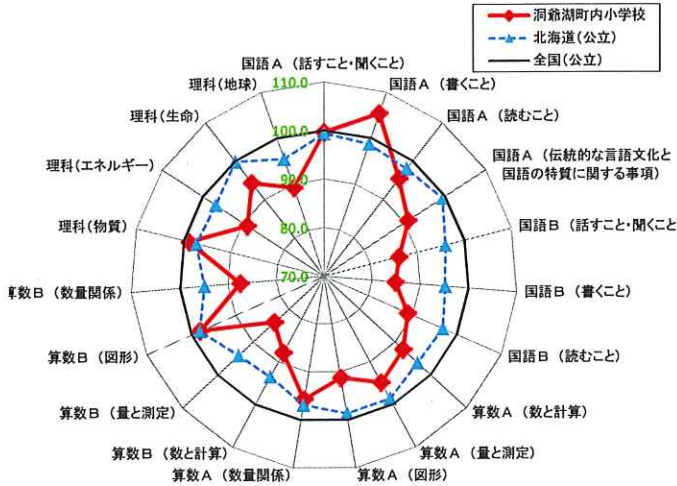
(単位：%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
洞爺湖町	68	48	49	30	55
北海道（公立）	77	61	65	46	67
全 国（公立）	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

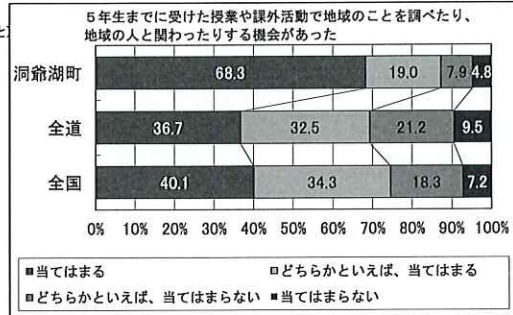
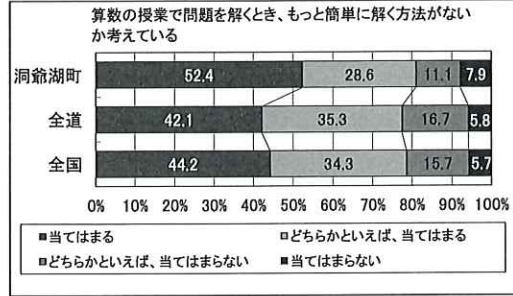
■洞爺湖町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:63人)

【教科全体の状況】

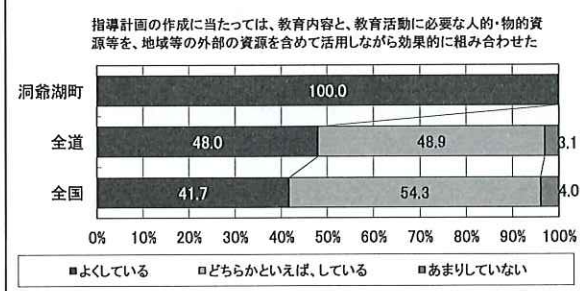
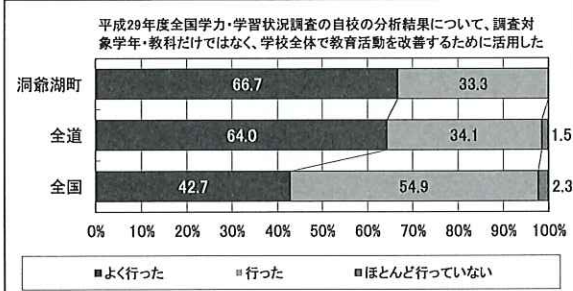
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」、Bでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「物質」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が、平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、算数の授業において、児童が自力解決や交流の段階でもっと簡単に解く方法がないか思考するようになってきていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が、指導計画の作成に当たり、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら組み合わせたことにより、児童が課外活動などで地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会が多くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた」と回答している。 	

【洞爺湖町の学力向上策】

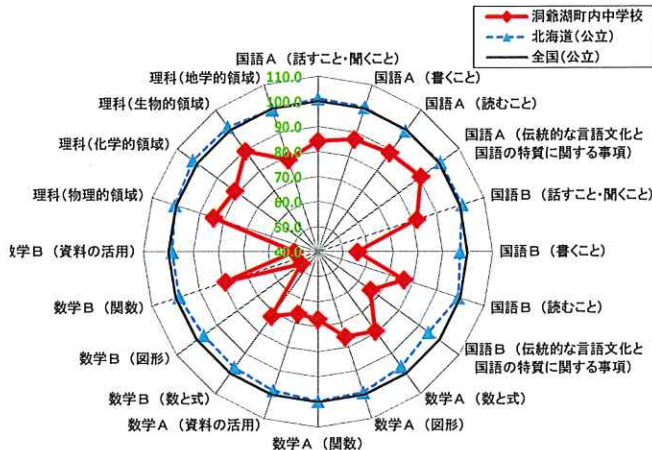
- ◎ 洞爺湖町スタンダード10研修委員会で策定した「洞爺湖町自立的学びのためのスタンダード10」の全町的取組への支援
- ◎ 長期休業中や放課後の補充学習と町の放課後学習支援(地域未来塾)の実施
- ◎ 教職員の資質向上のための町独自の講師招聘学力向上講演会の開催
- ◎ 町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施
- ◎ 支援員の手厚い配置
- ◎ 平日、土日の家庭学習強化の取組の実施(PTAへの呼びかけ文書の作成など)

■ 洞爺湖町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:40人)

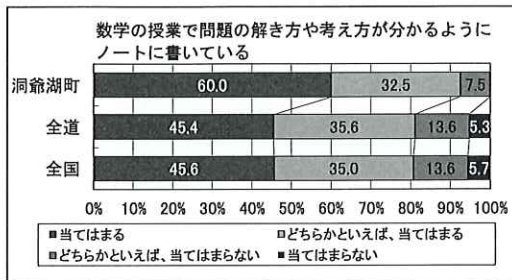
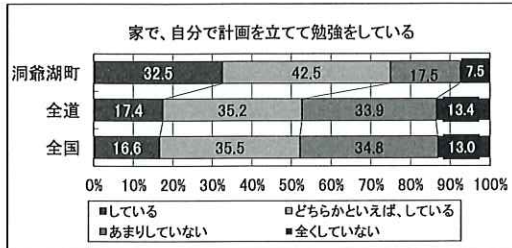
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

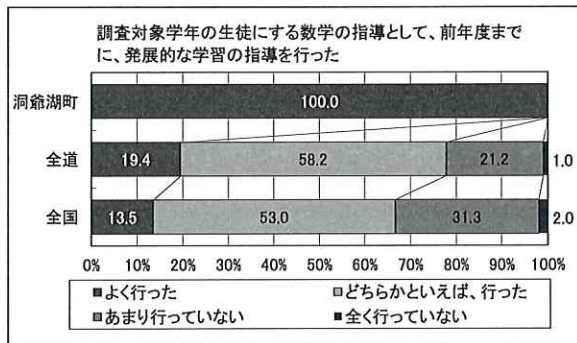
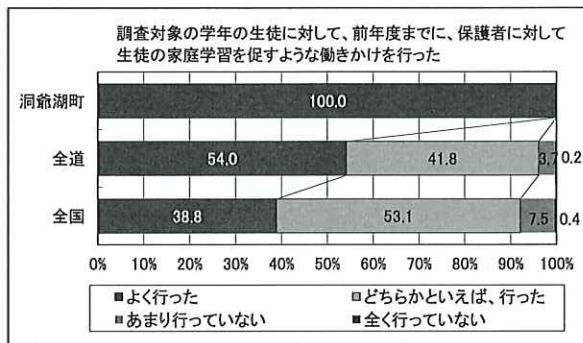
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「数と式」、Bでは、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、家で計画を立てて勉強する生徒が増えてきていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒は、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くようになってきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している」と回答している。 ○ 全ての学校が、「調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った」と回答している。 	

【洞爺湖町の学力向上策】

- ◎ 洞爺湖町スタンダード10研修委員会で策定した「洞爺湖町自立的学びのためのスタンダード10」の全町的取組への支援
- ◎ 長期休業中や放課後の補充学習と町の放課後学習支援(地域未来塾)の実施
- ◎ 教職員の資質向上のための町独自の講師招聘学力向上講演会の開催
- ◎ 町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施
- ◎ 支援員の手厚い配置
- ◎ 平日、土日の家庭学習強化の取組の実施(PTAへの呼びかけ文書の作成など)